

－障害のある人たちとのコラボレーションで創る新しい舞台芸術－

2005年度「エイブルアート・オンステージ」支援先決定

明治安田生命保険相互会社（社長 金子 亮太郎）では、2004年よりスタートした社会貢献事業「エイブルアート・オンステージ」（別紙1）の2005年度の支援先を決定いたしました。

1. 全国27のグループ・個人の中から8つの支援先を決定

当事業はNPO「エイブル・アート・ジャパン」（代表 嶋本 昭三）とともに、障害のある人たちに演劇、ダンス、音楽などの舞台芸術の分野で自らを表現する機会を提供し、プロの舞台人やアーティストとのコラボレーションを通して、これまでに見たことのない表現や作品づくりに挑戦し、新しい舞台表現の可能性を発見しようとするものです。

今般2年目にあたる2005年度の支援先を公募しておりましたが、ご応募いただいた全国27のグループ・個人の中から、演劇・音楽等の専門家を含む実行委員会で選考（書類および面接）し、8つのグループ・個人を支援先として決定いたしました。

今回決定した2005年度の支援先は次のとおりです。

（敬称略）

グループ・個人	代表者	主な活動地域	表現ジャンル
チャレンジステージ	小松原 修	佐賀県佐賀市	演劇
to R mansion （トゥ アール マンション）	野崎 夏世	東京都	マイムを中心とした 身体表現
ほうきぼしプロジェクト 実行委員会	上田 假奈代	大阪府大阪市	声を用いた パフォーマンス
音遊びの会	沼田 里衣	兵庫県神戸市	即興音楽
NPO法人演劇百貨店	柏木 陽	東京都	演劇
アクターズスクールくらっぷ	森永 眞	奈良県奈良市	演劇
縦山 智子	縦山 智子	東京都	実験的パフォーマンス
湖西市手をつなぐ親の会	神谷 里枝	静岡県湖西市	ダンス（フラメンコ）

2. 全国各地で行なわれる各活動を運営面、資金面にて支援

今回支援する8つのグループ・個人は、2005年9月から2006年2月にかけて各地で舞台表現に関する基礎を学ぶ「ワークショップ（舞台人養成講座）」を実施し、2006年3月から4月にそれぞれの地元で「舞台公演（作品発表）」を開催いたします。当事業では各グループ・個人の活動を支援してまいります。

3. コラボ・シアター・フェスティバル「エイブルアート・オンステージ2006」の開催

1年間の活動の成果として支援先の作品の上演、シンポジウムなどを行なうフェスティバルを東京にて開催し、新しい舞台芸術を社会に発信する場といたします。（2006年10月開催予定）

※1年目にあたる昨年の支援先8グループは、2005年8月上旬に「エイブルアート・オンステージ2005」にて、独創的な作品を発表いたしました。（別紙2）

明治安田生命社会貢献プログラム

「エイブルアート・オンステージ」の内容

1. 事業名称

明治安田生命社会貢献プログラム「エイブルアート・オンステージ」

2. 主催

明治安田生命保険相互会社
エイブル・アート・ジャパン

3. 実行委員（敬称略）

永井多恵子（財団法人 せたがや文化財団理事）
木佐貫邦子（舞踏家、桜美林大学助教授）
平田オリザ（劇作家・演出家）
野村 誠（作曲家）
吉野さつき（ワークショップ・コーディネーター、アートマネージャー）
山本 芳夫（明治安田生命保険相互会社専務取締役）
播磨 靖夫（エイブル・アート・ジャパン常務理事）

＜ご参考：実行委員の役割＞

- ・本事業のプログラム全般に対するアドバイス
 - ・本事業の社会的理解や関心向上に向けた活動支援
 - ・その他本事業推進に関する総合的な指導・助言
- ※この他、本事業推進にあたってテクニカルな面を含めた専門的なアドバイスをする
アドバイザーースタッフチームを構成します。

4. 事業目的

- （1）障害のある人たちに、演劇、ダンス、音楽などの舞台芸術の分野で、自らを表現する機会を提供するとともに、その普及を図ります。
- （2）舞台芸術に関わる人が、障害のある人とのコラボレートを通して、これまでにない新しい表現や作品づくりに挑戦します。
- （3）障害のある人の舞台表現に関わる指導者、スタッフの育成を図ります。

5. 事業の概略とスケジュール

- (1) 支援先に選ばれた各地のグループ・個人は、障害のある人と健常者による舞台づくりのためのワークショップを実施します。
このワークショップにおいては、演劇、ダンス、音楽などのさまざまな表現の体験を通じ、表現者としての基礎を学び、今までにない新しい舞台作品づくりをめざします。(2005年9月～2006年2月)
- (2) 各地のグループ・個人は、それぞれの地元でこの期間の活動の成果としての「舞台公演(作品発表)」を開催します。(2006年3月～4月)
- (3) 各地のグループ・個人は、東京で開催する「公開プレゼンテーション」に参加して、それぞれの取り組みや、地元で公演した作品を、映像を交えて発表します。(2005年6月)
- (4) 明治安田生命とエイブル・アート・ジャパンは、東京においてコラボ・シアター・フェスティバル「エイブルアート・オンステージ2006」を開催します。
このフェスティバルには、国内の支援先の中から3～4グループの作品を上演するほか、シンポジウムなどを開催し、われわれのめざす新しい舞台芸術「エイブルアート・オンステージ」を社会に発信します。(2006年10月頃)
- (5) 障害のある人の舞台芸術の分野で、先駆的な実践を続けている海外の演出家を、2005年冬から定期的に日本に招き、その演出家が障害のある表現者やプロの役者などとのワークショップを重ね、約2年をかけて2007年秋に作品を発表する特別プログラムも進める予定です。

「エイブル・アート・ジャパン」について

「エイブル・アート・ジャパン」は、障害のある人たちの芸術文化の総合的な環境整備を図ると同時に、障害のある人たちのアートを通して、「社会の芸術化、芸術の社会化」をめざすNPO(民間非営利組織)。

1994年に日本障害者芸術文化協会として発足し、翌1995年には「エイブル・アート・ムーブメント(可能性の芸術運動)」を提唱。展覧会、シンポジウム、ワークショップの実施、調査研究事業、出版活動、海外交流事業などを行なっている。

また、「人間が幸福になる」をキーワードに、アートによるソーシャル・インクルージョン(社会的包括)活動を推進している。

【会長】 嶋本 昭三(現代美術家、宝塚造形芸術大学院教授)

【事務局】 東京都中野区東中野 4-4-1 ポレポレ坐ビル3階 電話：03-3364-2140



クリスタル・トゥループ
(東京都)

Dance & People
(京都府)



FULL BODY AND THE VOICE
(海外招聘団体・イギリス)

2005年8月3・5～7日に実施したコラボ・シアター・フェスティバル「エイブルアート・オンステージ 2005」より
(於：国立オリンピック記念青少年総合センター 小ホール)